

自治体SDGs推進評価・調査検討会からの講評

提案者	講評
香川県土庄町	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドや若い人に魅力的な資源を見つけられていないため、そこを見つけられるように外部の人間がサポートできると良いのではないかと。 ・中国・四国地方では姫路や広島のようなインバウンドが多い都市があるが、瀬戸内海にもう一つ観光の目的地が必要だと考えている。 ・十分に活かしきれていない豊かな地域資源を活用して瀬戸内海にきらりと光る観光地の構築を期待する。 ・地元の本気度がある民間企業、行政の方がいると理解した。 ・計画策定業務が要件に入っているため、問題ないのではないかと。良い資源があるところのため、本気度が地元にあるかが重要である。 ・核になる施設を誘致できていないことが課題である。立花氏の会社は課題解決のコンサルティングをされており、気づきを与えられるのではないかと。 ・選択している専門家は、各地での実績が素晴らしい。具現化、実践へと持ち込むには、自治体の本気度と職員体制が重要である。 ・会計年度任用職員としたことは、とても良い方針である。 ・小豆島だけでは集客力が弱いため、直島などとセットで誘客する必要があるのではないかと。 ・緊急性は高いように思える。 ・専門家に関する情報が弱く、適切であるかどうかやや曖昧。 ・計画策定に対してどのようにSDGsを目指す形にするのか、専門家がいてることによって何を換えようとしているのかなどの説明に期待する。 ・国際対応できていないことが課題で底上げが必要だが、底上げよりは核となる施設の整備に終始してしまうのではないかと。